

はじめに

あなたは、『学び合い』を知っていますか？

「『学び合い』というのは聞いたことはあるけど、見たことない」

「見たことあるけど、やったことない」

「ちょっとやってみただけど、うまくいかない」

「ずっとやってるけど、行き詰まっている」

はたして、どのタイプでしょうか？

『学び合い』が学び合いと発音がそっくりなので、見たりやったりしたことがなくても、「ああ、それなら聞いたことがある」という人も多いのではないのでしょうか。

今、アクティブ・ラーニングの追い風に乗って、全国に『学び合い』が驚くほど急速に広まっています。それは、『学び合い』の考え方による授業（本書では、これを『学び合い』授業と呼ぶことにします）では、子どもたち全員が一人残らず能動的な学修をします。それによって、子どもたちがミラクルに激変する、学力がめきめき上がる、人間関係があっという間に改善されてQUテストが100%になる、外国籍の子どもたちが安心して学べる、いじめや不登校がなくなる、誰からも相手にされない子どもが一人もいなくなる等々、数え切れないほどの魅力があるからです。

では、『学び合い』とはいったいどのようなものなのでしょう？

『学び合い』とは、一人も見捨てられない教育の考え方です。指導方法や指導技術ではありません。考えさえ享受できれば、誰でも十分な成果を上げることができます。要は、子どもたちを信じて本気で任せられるかどうかが肝なのです。

しかし、『学び合い』の考え方を享受したからとは言っても、初めて『学び合い』に取り組む人にとってはやはり授業をするまでにはステップ・アップしていくコツを知りたいのは山々だと思います。

全国に急激に広まりつつある今、『学び合い』成功のコツを習得しないまま、本を読んで形だけを見よう見まねでやったり、“『学び合い』は教師が教えない授業”だからと言って半ば放任のようにして実践したりすることによって、本に書いてあるような成果が上がらないとあきらめてしまったりよりいっそう誤解してしまったりすることが懸念されます。

それは、『学び合い』でしなければならないことをしなかったために、見かけだけの『学び合い』授業に終わってしまって、真の『学び合い』授業に至らなかったことに他なりません。真の『学び合い』授業にするためには、テクニックが必要なのです。やはり、肝があります。

そこで、本書では、『学び合い』をやってみたいと思っている人やどうやったらうまくできるのか（どうやったら、見かけの『学び合い』授業から抜け出せるのか）と悩んでいる人の支えになるために、真の『学び合い』授業にするために誰もが必ず成功できる26の達人技術を紹介します。

第1章では土台づくりの6つの達人技術、第2章では目標づくりの6つの達人技術、第3章では授業中の8つの達人技術、第4章では評価の時の6つの達人技術です。

この本を読んで、やってみたいという思いを持ったその時こそ、一人も見捨てられない共生社会の実現に向けて、真の『学び合い』授業を成功させるための挑戦を一緒に始めましょう。

本書が学校現場でゼロから『学び合い』を学びたいと思っている人たちや挑戦してみて悩んだり困ったりしている人たちの羅針盤になるならば、これほど嬉しいことはありません。

2016年7月10日

筆者

明日から使える『学び合い』の達人技術

目 次

はじめに 1

序章 真の『学び合い』授業が、ここにある 7

第1章 真の『学び合い』授業にするための土台づくりの6つの達人技術
.....11

1. 『学び合い』の文化を育む学級づくりのテクニック 12
2. 子どもを信じて任せる『学び合い』の学級づくりのテクニック 16
3. 『学び合い』の授業観を育む学級づくりのテクニック 18
4. 『学び合い』の学校観を育む学級づくりのテクニック 20
5. 子どもたちに考えさせる文化を育む学級づくりのテクニック 22
6. みんなができるためにだれもが動ける文化を育む学級づくりのテクニック 26

第2章 真の『学び合い』授業にするための目標づくりの6つの達人技術
.....29

1. 子どもたちに誤解されず、何をさせたいのかがすぐに伝わる『学び合い』教師の良い目標づくりのテクニック 30
2. 「みんな」を求め、みんなができることを求める『学び合い』教師の目標づくりのテクニック 32
3. 答えを覚えさせたい場合の『学び合い』教師の目標づくりのテクニック 34
4. 答えを覚えさせたくない場合の『学び合い』教師の目標づくりのテクニック 36
5. 具体的な合格基準（ゴール）を決めておく『学び合い』教師の目標づくりのテクニック 38
6. 『学び合い』教師の授業前の指導案づくりのテクニック 40

第3章 真の『学び合い』授業にするための授業中の8つの達人技術 … 43

1. 目標を示す時の『学び合い』教師のふれない本気のテクニック 44
2. 活動に入る前に、評価方法、評価時期、評価規準を提示する『学び合い』教師のテクニック 46
3. 活動に入る前に、活動時間を確保する『学び合い』教師のテクニック 48
4. 活動に入る前に、活動時間をきちんと決めて、一度決めたら延長しない『学び合い』教師のテクニック 50
5. 活動中の『学び合い』教師の立ち位置のテクニック 52
6. 活動中の『学び合い』教師の可視化のテクニック 54
7. 活動中の『学び合い』教師のほめ方のテクニック 56
8. 活動中の『学び合い』教師の「みんな」を求めるテクニック 64

第4章 真の『学び合い』授業にするための評価の時の6つの達人技術 … 69

1. 評価の時に、まとめを子どもたちに任せる『学び合い』教師のテクニック 70
2. 評価の時の『学び合い』教師の評価の仕方のテクニック 78
3. 評価の時に、子どもたちに全員で評価結果を確認させる『学び合い』教師のテクニック 82
4. 評価の時に、子どもたちにリフレクションさせる『学び合い』教師のテクニック 86
5. 評価の時に、「みんな」を求める『学び合い』教師のテクニック 90
6. 評価の時に、目標としての「みんなができる」が達成できなかったときの次の一手を講じる『学び合い』教師のテクニック 92

あとがき …………… 96